

1 主題名 相手を正しく知ること

2 教材名 「あしなが」 <出典：講談社>自作教材

3 主題構成表

<p>■ 内容項目 C 公正、公平、社会正義 誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。</p>	<p>■ 内容項目から見た児童の実態（意識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級内で、実際に問題に関わっていない児童が友達の話をおこぼれにしてみたり、事を大きくしてしまったりすることがある。 ・「心の健康チェックシート」等の諸アンケートでは、3年生になってから友達や学級の仲間との間で困ったことがあったという児童がいる。 <p>■ 意識の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その時の自分の気持ちを優先したり、友達等周りの意見に左右され、勝手な思い込みや噂話に影響されたりすることがある。 	<p>■ 教材の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のら犬たちの暮らす町に、すらりと足の長い美しい犬「あしなが」がやってくる。のら犬たちの中で、その外見からありもしない噂話が始まり、主人公のケンもあしながのことをよく思っていなかった。しかし、ある日、本当のあしながの姿を知ることになる。相手を外見や噂ではなく、正しく知ることの大切さを考えることができる。 ・この時期の児童は、友達同士でグループをつくり、その中で噂話が広がり、問題行動につながることもある。差別や偏見をもつことなく、事実を正しく知ることが大切である。学級で起こりうる問題を取り上げている教材である。
---	--	--

ねらい

あしながの本当の姿を見たケンの気持ちを考える活動を通して、噂話を信じたり思い込みで決めつけたりせず、相手を正しく知ることが大切だと気づき、誰に対しても公正、公平に関わろうとする態度を育てる。

■ **研究内容に関わって**

〈Ⅱ-①価値への方向付けと問題意識を引き出す導入の工夫〉

仲間との関わり方について「心の健康チェックシート」等の集計結果をモニターで提示することで、自分ごととして捉える足場をつくる。

〈Ⅱ-②多面的・多角的な考えや多様な感じ方を引き出し、人間理解、他者理解、価値理解、自己理解を促す発問の工夫と精選〉

中心発問をしたときに、児童が、一晩中眠れなかった主人公のケンになり、教師にその気持ちを話すという役割演技を仕組む。そして教師が「ケンは、少し前まであしながをどんな犬だと思っていたのかな。」と問うことで、ケンが噂話に翻弄され、あしながと公正、公平に関わっていなかったことに気付くことができるようにする。

